

20170528 「霊的な礼拝」

目標：今まで学んできたことを振り返り、主イエスの救いに相応しい生き方を考える。

聖書箇所：ローマ 12：1～21 時間：10分

暗誦聖句：「あなた方のからだを、神に喜ばれる、生きた、聖なる供え物としてささげなさい」（ローマ 12：1）

道具：ホワイトボード、ペン

対象者：中1×1 小6×1 小4×3 小3×2 小2×1 小1×2 未就園児×1

留意点：子どもたちは未だ全員信仰告白をしていない。故に、ローマ書の構造である「福音的教理から倫理的教説へ」は前提に出来ない所に本時の難しさがある。今まで学んできた救いの意味を振り返りつつ、本時の暗誦聖句（12：1の後半）に集中し、私達はどうかあるべきなのか問いかけていく。

段階	時間	教師から	子供に予想される反応	備考
課題確認	2分	<p>今日はイエス様がわたしたちに与えて下さった救いのおさらいをしましょう。</p> <p>図を書いて説明します。</p> <p>わたしたちに救いが与えられました。</p>		<p>課題提示</p> <p>「わたし」と書いて○で囲む。</p> <p>「わたし」の右上に「イエス様の十字架による救い」と書いて、また丸で囲む。</p>
課題探究	6分	<p>なぜ救いが必要なんでしたっけ</p> <p>罪人だとどうなるんですっけ</p> <p>すると、私達はこんな感じですか？</p> <p>実は、聖書は私達がいる所まで滅びの中に入っていると知っているのです。</p> <p>今、滅んでいるとは驚きかもしれませんが、そうでなければ、イエス様がわたしたちが信じる前に救いの業をする必要は無いわけです。</p> <p>本日の御言は、救いに入るのなら、全身入るようになるんですよと知っているのです。</p> <p>そして、主イエスに相応しい、聖なるささげ物という意識を持って下さいと知っているのです。</p> <p>イエス様ありがとうという気持ちで取り組むものは、全部イエス様は喜んで下さいます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・私達は罪人だから ・滅ぶ ・はい ・いいえ 	<p>この回答以外が返ってきた場合は、救いの必要が解っていないので、何度も復唱させるなどして定着させたい。</p> <p>「わたし」の左上に「滅び」と書いて、また丸で囲む。</p> <p>「わたし」が上の方に書いてある「…救い」と「滅び」を選ぶ位置で、逡巡していることを示す。</p> <p>「滅び」を黒く塗りつぶした勢いのまま、「…救い」以外全体を黒く塗りつぶす。</p> <p>教師が言っている内容が理解できない可能性もあるが、以前ローマ5章で扱った内容なので、思い出す子には御言がつながる良い経験になると思うので、触れたい。</p> <p>からだを全身と表現し、子どもたちがイメージしやすくする。</p> <p>聖なるささげものとはどういうものだと思うか考えさせたい。大抵、合致したものが出るはずである。</p> <p>主イエスを喜ばせることをいやがる子どもは恐らくいない。もしいるなら、何か問題を抱えていると思われるので、別の機会に時間を設けて向き合うべきであろう。</p>
まとめ	2分	<p>皆さん是非イエス様の救いの御業を、自分のこととして考え、受け取ってほしいと思います。イエス様に喜んでもらえるような、良いささげものとなれたらと思います。</p> <p>暗誦聖句</p>		<p>189号のテーマ「神の恵みに生かされる」からの反映。</p> <p>子どもたちは運動会を控えている。そこで神の喜ぶささげものになるとはどういうことだろうか考えさせると、深みが出てくるだろう。</p>